

INFORMATION

プラネタリウム秋の番組

ルーツ～火星に生命を求めて

火星には生命は存在するのでしょうか。最新の研究成果を交えながら、火星に生命を探す意義について考えます。

9月6日(土)→12月14日(日)

平日	16:00
土曜日	13:30 17:30
日・祝日	11:30 15:30

今夜の星空と天文ニュース

今夜の星空の見どころと最新の天文情報。

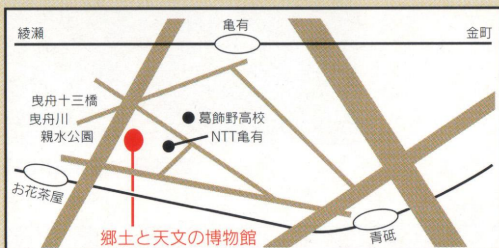
土曜日	15:30
日・祝日	13:30

キッズアワー

幼児～小学校低学年向け番組。

土曜日	11:30 (上映日に注意)
9月6・20日	「おつきさまものがたり」
10月4・11日	「おつきさまものがたり」
11月1・8・15・29日	「星座はじめて物語」

交通のご案内



- 京成線「お花茶屋」から8分
- JR常磐線「亀有」から25分
- 京成タウンバス (有57 亀有一タウンバス車庫) [共栄学園][上千葉小学校] 下車徒歩5分
- 駐車場に限りがございます。電車・バスをご利用ください。

ホームページでも詳しくご案内しています。 <http://www.city.katsushika.tokyo.jp/museum>

葛飾区 郷土と天文の博物館
〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1
TEL 03(3838) 1101

R100
このフレットは再生紙を使用しています。

MUSIC PLANET ミュージック・プラネット

満天の星と心地よいサウンドが織りなすファンタスティックなひとときをどうぞ。

9月「平井賢特集」
10月・11月「ゆず特集」
12月「クリスマス特集」

土曜日	19:00 ※印の日は19:30
9月	13・20*・27日
10月	4・11*・25日
11月	1・8*・22・29日
12月	6*・20・27日

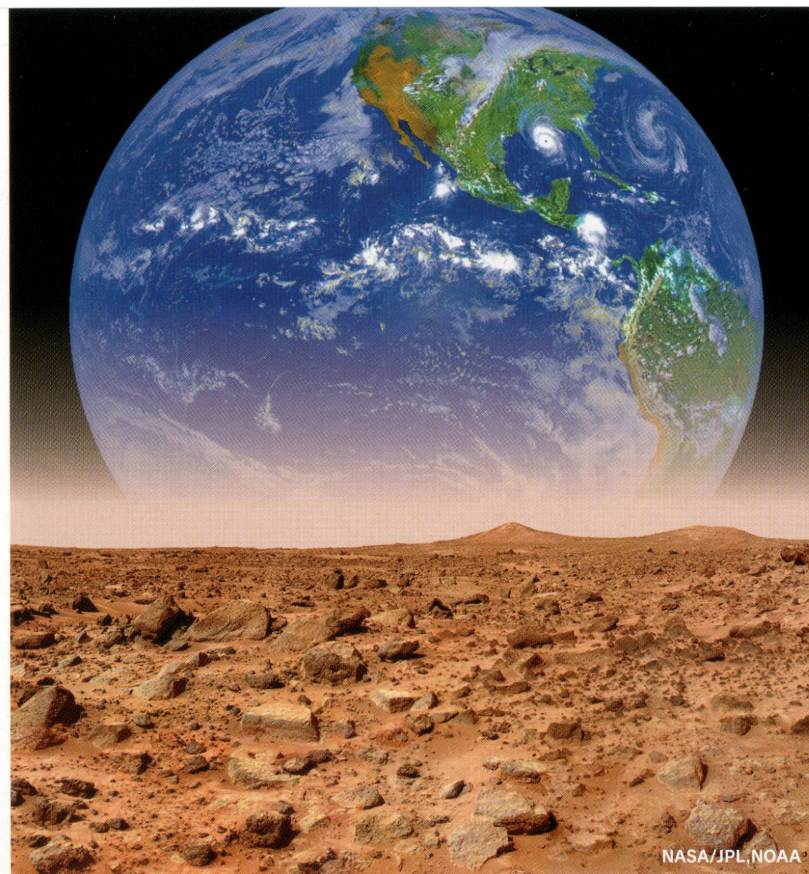
■料金(入館料を含みます)

大人400円/小・中学生150円/幼児50円
土曜日は小・中学生以下無料

■休館日・休演日

月曜日(祝日は開館)
第2・4火曜日(祝日は開館し翌日休館)
9月16日(火)～17日(水)(機器保守点検のため)
12月16日(火)～19日(金)(番組入替のため)

■上映15分前までにご来館ください。

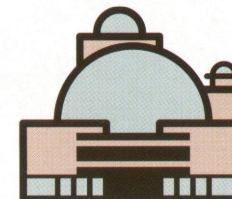


NASA/JPL,NOAA

PLANETARIUM

ルーツ～火星に生命を求めて～

Vol.50 2003・秋



KATSUSHIKA CITY MUSEUM

くるり、火星の宙返り。



■まだまだ見える火星

今年(2003年)8月27日に大接近して話題となった火星。地球から見たその動きを博物館のプラネタリウムで再現してみたのが上の写真です。

火星はみずがめ座の星々を背景に西から東へ位置を変えています。7月末から9月末までは、向きを変えて東から西へと動いています。これは地球が火星などの外惑星を追い抜く時に見られる現象で、『逆行』といえます。

大接近は終わってしまいましたが、火星はまだまだ良く見えています。宵の南の空に、赤くて明るい星が見えていたら、それが火星です。ぜひ一度、探してみてください。

■ひっそりと輝くみずがめ座

火星大接近の舞台となったみずがめ座をご紹介します。

残念ながら明るい星はなく、東京ではほとんど見ることができない星座ですが、空の暗い場所^{みずがめ}でじっくり見ると、暗い星々の連なりから、水瓶からこぼれた水の流れをたどることができます。

星座絵に描かれている少年は、ギリシア神話に登場するガニュメデス。ワシの姿に変身した^{おおがみ}大神ゼウスによって天上の世界へ連れて行かれ、ギリシャの神様たちのお酒のお酌をするようになった、という神話が伝わっています。

彼の持っている瓶には、水ではなくお酒が入っているのかも知れませぬ。

地球生命のたくましさ^{しさ}が火星に生命の可能性を示唆する

生命などいないと思われていた海底火山の近く、300℃もの熱水が噴出しているようなところに、太陽のエネルギーを必要としない生物の群集が発見されました。地球の生命は、こんなところでも生きていけるのです。むしろ、地球の最初の生命は、このような熱水の中から生まれてきたのではないかとわれはじめています。

過去に海があったかもしれない火星や、今でも海があるかもしれない木星の衛星エウロパにも、このような環境のもとで生命が生まれている可能性があります。

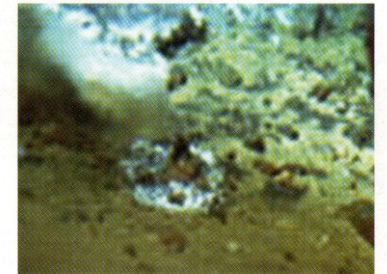
今年、6万年ぶりに大接近した火星。もしも火星に生命の痕跡^{こんせき}が見つかれば、私たち地球の生命は宇宙のなかで孤独な存在ではなくなります。

人類は小さな球の上で
眠り起きそして働き
ときどき火星に
仲間を欲しがったりする



熱水噴出口の近くに群生するチューブワーム
©JAMSTEC

火星人は小さな球の上で
何をしているか 僕は知らない
(或はネリリシ キルルシ ハララしているか)
しかしときどき地球に
仲間を欲しがったりする
それはまったくたしかなことだ



深海底の熱水噴出口
©文部科学省



こいけ じゅんぺい 番組監修：小池惇平氏

東京工業大学。理学博士。1943年、長野県生まれ。宇宙生物学の分野における火星生命の実験的検証や火星テラフォーミング構想に関して、日本ではパイオニア的存在。